

2022年11月29日

2024年春竣工予定の福岡県小郡市・物流施設への優先出資について

日本国土開発株式会社(東京都港区赤坂4-9-9 代表取締役社長:朝倉健夫)は、SPC(特定目的会社)を通じて、物流施設「小郡ロジスティクスセンター(仮称)」のプロジェクトに優先出資することになりましたので、お知らせします。福岡県小郡市に開発用の用地を取得しており、同施設の着工は2023年春、竣工は2024年春の予定です。

優先出資者は当社のほか、株式会社アスコット(東京都渋谷区 代表取締役社長:中林毅)、株式会社ボルテックス(東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO:宮沢文彦)です。本件のアセットマネジメント業務を行うのはCBRE株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長兼CEO:坂口英治)、株式会社ボルテックス投資顧問(東京都千代田区 代表取締役社長:五味勝彦)で、プロパティマネジメント業務に関しては、CBRE株式会社が受託する予定です。

日本国土開発は、現在進行中の「中期経営計画2024」において、高付加価値が提供できる「強みのある領域」を創出し、事業ポートフォリオ改革を推進することを目標の一つに掲げています。土木事業や建築事業のほかに、不動産開発事業や太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー事業などを手掛ける「関連事業」への投資拡大を進めています。今年7月には、地域活性化や未来の働き方のテストフィールドとなるキャンプ&ワーケーション施設「IZUMI PEAK BASE®」(宮城県仙台市泉区)を開業するなど、新たな事業モデルの創出にも注力しています。今回の「小郡ロジスティクスセンター(仮称)」への出資についても、不動産開発事業のさらなる拡大を図るために推進していきます。



小郡ロジスティクスセンター(仮称)の外観イメージ



◆参考資料

「小郡ロジスティクスセンター(仮称)」は、大分自動車道筑後小郡インターチェンジに隣接し、大分自動車道、九州自動車道、長崎自動車道が交わる鳥栖ジャンクションまで10km圏内と好立地にあり、九州全域への配送を担う物流拠点として新たに誕生することになります。また、甘木鉄道の今隈駅にも隣接しており、テナント企業様の従業員に通勤しやすい環境にもあり、本施設誕生にともなう地域雇用の活性化も見込まれます。

<交通アクセス>

- 「筑後小郡IC」約500m(車で約1分)、「鳥栖JCT」約5.7km(高速道路で約6分)
- 「鳥栖IC」約6.9km(高速道路で約8分)、「福岡IC」約32.6km(高速道路で約30分)
- 「福岡空港」約31.1km(高速道路で約32分)、「博多港」約36.5km(高速道路で約35分)



大分自動車道 筑後小郡IC 至近の優良地、福岡市内へも車移動で約30分

施設概要

名称: 小郡ロジスティクスセンター(仮称)
 建設地: 福岡県小郡市山隈字柳、向浦、上岩田字杉山
 敷地面積: 約12,167㎡(3,694坪)
 建物用途: 倉庫(倉庫業を営む倉庫)
 構造種別: 鉄骨造(3階建)
 建築面積: 7,004㎡(2,118坪)
 延床面積: 19,814㎡(5,993坪)
 竣工: 2024年春予定
 施工: 大和ハウス工業株式会社

◆優先出資3社

- ・日本国土開発株式会社 <https://www.n-kokudo.co.jp/>
- ・株式会社アスコット <https://www.ascotcorp.co.jp>
- ・株式会社ボルテックス <https://www.vortex-net.com/>

◆アセットマネジメント 2社

- ・CBRE株式会社 www.cbre.co.jp
- ・ボルテックス投資顧問

※CBRE株式会社に関してはPMも受託予定

以上

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 戦略本部戦略部(広報担当) 電話 03-5410-5601